

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女平等推進センター維持管理				整理番号	124		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204	連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	125	
係名 男女平等推進センター					上位施策名				No		
予算事業名 男女平等推進センター維持管理					コード	12650		男女共同参画社会に向けた環境整備			69
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成 9 年度				<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 男女平等推進センター条例 (2) 行政財産使用料条例 (3) 男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱						
	男女平等推進センターの建物、設備及び利用する個人・団体				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 快適で安全な施設環境に保全する。						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 男女平等推進センターの維持管理(建物管理については、併設の児童青少年センターに執行委任)及び集会室、印刷機・電子複写機使用料の徴収				活動指標名(式) 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
				(1) 集会室等利用件数				(1) (代) m ² 当たりの維持管理経費			
				(2) 情報コーナー利用人数				(2)			
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	680	707	700	679	700			
	活動指標(2)		人	2,843	2,469	2,500	2,343	2,500			
	成果指標(1)		千円	14.58	15.28	16.65	15.22	16.66			
	成果指標(2)										
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,011	6,376	7,053	6,331	7,058	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	3,321	3,574	3,622	3,621	3,575			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,362	1,349	1,365	1,365			1,365
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	7,373	7,725	8,418	7,696	8,423			
	単位あたりコスト ÷		円	10,843	10,926	12,026	11,334	12,033			
	財源	受益者負担分		千円	68	58	119	62			119
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	68	58	119	62			119
差引:一般財源 -		千円	7,305	7,667	8,299	7,634	8,304				
受益者負担比率 ÷		%	0.9	0.8	1.4	0.8	1.4				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	97.0	活動指標(2)の16年度達成率%	93.7	16年度予算執行率%	89.8			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			16年度については、大きな修繕箇所がなかったため、ひきつづき17年度には改修計画を進める予定である。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「男は仕事、女は家庭」という考え方について、(区男女共同参画に関する意識と実態調査より) 平成10年度:肯定派=39.7% 否定派=59.7% 平成13年度:肯定派=30.2% 否定派=65.2%
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・最寄の駅から離れており不便である。
	今後の予測	・経年劣化に伴い、通常の維持管理経費に加えて修繕費が増加する。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:男女共同参画社会づくりにおいて、区民・団体が安心して活動できる拠点を適切に維持管理できた。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:簡単な修理等については、職員が自ら修理し、施設の維持についても工夫する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:印刷機・複写機の使用については、すでに一部費用を徴収しているが、区全体の考え方が統一されれば、見直しも可能である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:光熱費の削減により、ランニングコストを低減する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 委託[業務量の50%未満に相当](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:建物清掃業務等は業務委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 児童青少年センターと協議し、業務委託について研究する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 施設管理費のうち、修繕費については、経年劣化により年々増加していくと予想される。今後は、安全性・快適性の向上を図る観点から、計画的に改修等を実施するため、併設の児童青少年センターと検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 大規模な改修費の確保は、現在の財政状況では困難である。しかし、児童青少年センターと改修を計画的に実施することにより、コストを抑えることができる。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	修繕費については、改修を計画的に実施することにより、支出の増加を抑えるよう努力する。

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画のための事業運営				整理番号	125		枝番号						
担当部課		区民生活部文化・交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	126				
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No					
予算事業名				男女平等推進センター事業振興				コード		11950		男女共同参画社会に向けた環境整備		69	
事務事業の概要	事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類				<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等								
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 男女平等推進センター条例 (2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画 (3) 男女平等推進センター広報編集委員会設置要綱								
	区内在住・在勤・在学者、区内団体				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				情報収集・発信のため関連図書等の閲覧・貸出を行い、公募区民の編集による男女平等推進誌を発行する。 男女共同参画社会推進のための講座等を開催する。 男女共同参画推進のために活動している団体・グループを支援し、リーダー養成を行う。										
活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(1) 講座開催日数				(1) 講座参加満足度 = 評価(5点満点) / 回答人数											
(2) 編集委員会の開催数				(2) (代) 利用者登録者数											
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度		目標値	目標値に対する16年度の達成率%			
							計画		実績		19年度				
指標	活動指標(1)		日	23	23	20	29	20							
	活動指標(2)		回	38	45	32	43	40							
	成果指標(1)		点	4.52	4.43	5.00	4.48	5.00							
	成果指標(2)		人	28	56	50	53	50							
総事業費・コスト把握	事業費		千円	6,244		6,003		6,991		5,436		6,687		特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)の講座、開催日数・事業費は、女性のための起業支援セミナーを除く。	
	(内)委託費		千円	106		106		85		307		786			
	職員数(常勤 非常勤)		人	4.03	1.00	4.03	1.00	4.03	1.00	4.03	1.00	2.80	1.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	36,604		36,246		36,673		36,673		25,480		
		非常勤職員分		千円	2,935		2,759		2,880		2,880		2,880		
	総事業費 ++		千円	45,783		45,008		46,544		44,989		35,047			
	単位あたりコスト ÷		円	1,990,565		1,956,870		2,327,200		1,551,345		1,752,350			
	財源	受益者負担分		千円											
		国・都等からの支出金		千円											
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	45,783		45,008		46,544		44,989		35,047				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%		145.0		活動指標(2)の16年度達成率%		134.4		16年度予算執行率%		77.8		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			インターネットによる情報発信として、ホームページに掲載する内容を作成中である。												

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	厚生労働省の出生動向調査によると女性の理想のライフコースは専業主婦という意見は後退。 昭和63年 女性34% 男性38% 平成15年 女性19% 男性18%(対象は18~34歳の独身女性)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	・異なる年齢の男女と学びあう好機をいただき、大変うれしく思っております。 ・実際にDVの支援をしている方や被害者の話を聞いてよかった。参考になりました。 ・女性の地位の変遷を久しぶりに見直す機会を持ちました。
	今後の予測	区民の生き方・価値観の多様化により、当センターの講座等の事業に対する期待も多様化していくと考えられる。また、区民が講座を企画したり、参加型の講座が今後増えていくと予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:男女共同参画社会の実現に向けて、講座の開催、情報収集・発信の拠点、個人・団体活動への支援が必要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民との協働を一層すすめることで、成果が期待できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:受講料の設定や教材費の徴収など検討の余地がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:児童青少年センターと連携し、施設管理の委託等を行い、コストの削減が可能であると考え。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容:杉並女性団体連絡会と共催して、リーダー養成事業を実施している。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[その他](具体的内容)	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 講座のいくつかを杉並女性団体連絡会、区内の大学、区民団体・グループなどと共催して行う。また、NPO等に委託して行う。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・区民団体・グループと連携することで、様々なニーズを持つ参加者を募ることができる。 ・新しいグループ、大学、NPOとの連携で、より興味深い講座を開催することができる。 ・インターネットなど幅広い媒体により、広く周知することができる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 センターのホームページ等の作成は、区全体の調整の中で進める必要がある。また、職員の技術向上も欠かすことができない。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		女性のための相談				整理番号	126		枝番号					
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051204		連絡先電話番号	3393-4410		昨年度整理番号	127			
係名				男女平等推進センター				上位施策名		No				
予算事業名		男女平等推進センター事業振興		コード	11950		男女共同参画社会に向けた環境整備		69					
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		9年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等									
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 男女平等推進センター条例 (2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画 (3) 杉並区女性総合相談(一般)実施要綱									
	区民		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		センターにおいて、無料で一般相談(火～土曜の9:00～16:00)、法律相談(毎木曜の13:30～16:30、月1回夜間、予約制)、心の相談(毎水曜の13:30～16:30、予約制)を実施。 悩みを持った区民が、解決方法が見つかり、安心して生活を送れるようになり、いきいきと社会に参加できるようになること。											
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標												
(1) 年間開催日数(延べ)		(1) 相談件数 = 一般相談 + 法律相談 + 心の相談												
(2)		(2)												
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画		目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
							計画	実績						
指標	活動指標(1)		日	336		338		338	328		338			
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		件	822		1,606		1,600	1,957		1,900			
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,975		1,872		2,034		1,804		3,146	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標(1)は、一般相談 + 法律相談 + 心の相談の合計日数	
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.15	1.00	0.15	2.00	0.15	2.00	0.15	2.00	0.15		2.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,362		1,349		1,365		1,365			1,365
		非常勤職員分		千円	2,935		5,518		5,760		5,760			5,760
	総事業費 ++		千円	8,272		8,739		9,159		8,929		10,271		
	単位あたりコスト ÷		円	24,619		25,855		27,098		27,223		30,388		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
		特定財源計 +		千円	0		0		0		0			0
差引:一般財源 -		千円	8,272		8,739		9,159		8,929		10,271			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		97.0		活動指標(2)の16年度達成率%				16年度予算執行率%		88.7		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)														

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年5月から「心の相談」を開始した。		
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	女性のための相談室が存在することによって、女性の立場から相談にのってもらうことができ、助かっているとの声が多く寄せられている。		
	今後の予測	最近の社会状況を反映し、より深刻な相談が増すことが予想される。		
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:ドメスティック・バイオレンス(以下「DV」という。)の相談、こころの相談、就職の相談等多岐にわたる深刻な相談に対応し、区民に貢献している。		
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:相談員の資質の向上に努めることにより、成果を高めることができる。		
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:現時点では、相談の有料化は適当でないと考えるが、区における他の相談業務と歩調をそろえる必要がある。		
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:相談件数は年々増えており、相談日数を減らすなどのコストを下げることは、区民福祉の観点から適当でない。		
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容) 協働等の相手 協働等の形態	理由:福祉事務所などの区の関係機関や警察、都施設などの迅速な連携がとれること、相談業務における個人情報の保護の必要性を鑑み、当面、区で行うことが望ましい。 理由または具体的内容:		
	(6) 協働等の相手 協働等の形態	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み		

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 研修派遣などによる相談員の技術の向上や関係機関との綿密な連携により、区民の相談により適切に対応できる度力をする。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 相談員の技術向上のために、都や国の実施する研修も大いに活用していく必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画推進のための啓発・調査研究				整理番号	128		枝番号				
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201		連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	129		
係名					男女共同参画推進担当					上位施策名		No	
予算事業名					男女共同参画の推進					コード		11900	
事業開始年度					○ 昭和 ● 平成		3 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類					<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
対象					<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱 (3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
区民 職員 各主管課					事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)					資料集や啓発誌、推進誌等を作成し、区民、団体、職員等に配布する。 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査を実施する。(前年度の事業の推進状況を各課ごとに調査する。)								
活動指標名(式)					成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 啓発誌作成部数 + 推進誌作成部数					(1) 啓発誌配布数 ÷ 啓発誌作成部数								
(2) 男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査対象事業数					(2) 有効とされた事業 ÷ 対象事業数								
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
					計画	実績							
指標	活動指標(1)		部	3,200	1,600	5,300	7,800	4,700	4,700	166.0			
	活動指標(2)		事業	450	448	450	435	106	106	410.4			
	成果指標(1)		%	96	91	90	97	90	95	101.7			
	成果指標(2)		%	88	86	90	67	90	95	70.6			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,260	667	1,573	1,616	5,083	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度は「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」を実施するため、委託費が大幅増になっている。				
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	3,710					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.52	1.00	0.90	0.85	0.90					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,723	8,994	8,190	7,735	8,190					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0					
	総事業費 ++		千円	5,983	9,661	9,763	9,351	13,273					
	単位あたりコスト ÷		円	1,870	6,038	1,842	1,199	2,824					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0		
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0		
差引:一般財源 -		千円	5,983	9,661	9,763	9,351	13,273						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	147.2	活動指標(2)の16年度達成率%	96.7	16年度予算執行率%	102.7					
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			17年度は「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」を実施し、区民の現状を把握する。										

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	「男女共同参画社会基本法」や「男女共同参画基本計画」が制定されるなど、男女共同参画社会の実現は21世紀におけるわが国の最重要課題のひとつと位置づけられている。依然として“女性に対する暴力”が大きな社会問題となっており、平成16年12月2日には「配偶者暴力防止・被害者保護法」が改正された。また、平成17年4月1日には、職業と家庭・地域生活との両立をめざし「改正育児・介護休業法」が施行された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	「職場の男女共同参画がどれだけ進捗しているか、区内事業者等へ実踏調査してほしい。」という意見がある。
	今後の予測	少子高齢社会の成熟化、フリーター、ニート等の増加による就労形態の変化が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区の状況を調査研究し、それに基づき区民、団体、職員等に、男女平等に関する意識啓発や情報提供することにより、男女共同参画社会の実現を訴え続けることができる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 区民、団体(区内事業者等)に対する意識啓発の方法を工夫する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 男女平等・男女男女共同参画についての理解を深めるために情報提供するのであり、事業の性格上、受益者負担は適当ではない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在も、必要最低限の経費で行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 調査・分析を専門とする企業に「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」を委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^) 協働等の形態 協働[委託](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 企業や教育機関等に意識調査を委託し、より専門的な調査・分析をめざす。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 男女共同参画社会を実現するため、区民の意識と実態を把握し、効果的な事業を展開する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民、団体(区内事業者等)に対する意識啓発の方法を研究する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 「男女共同参画に関する意識と生活実態調査」は数年毎の実施のため、18年度は委託費を大幅に減ずる。	

平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		男女共同参画の推進				整理番号	129		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	2286		昨年度整理番号	130	
係名 男女共同参画推進担当					上位施策名				No		
予算事業名 男女共同参画の推進					コード	11900		男女共同参画社会に向けた環境整備			69
事務事業の概要	事業開始年度 ○ 昭和 ● 平成 10 年度				<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等						
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 男女共同参画社会基本法						
	公募区民、団体代表、関係機関、学識経験者、地域団体、職員				(2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 男女共同参画推進区民懇談会: 区における男女共同参画関係施策の総合的・計画的推進を図るため、委員及び幹事で懇談、意見集約を図る。 男女共同参画都市宣言記念事業: 例年12月の宣言時期にあわせてパネル展示を行うほか、通年で各種事業を行う。				(3) 杉並区男女共同参画推進会議設置要綱						
	活動指標名(式)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 男女共同参画の推進を図るため、男女平等・共同参画に関する施策について懇談、意見集約を図り、男女共同参画行政に反映させる。 都市宣言記念事業の実施により、宣言の周知を図る。						
(1) 男女共同参画推進区民懇談会等の開催回数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(2) 都市宣言記念事業参加者数				(1) 審議会等への女性の参画率							
				(2) 杉並区が男女共同参画宣言都市であると知っている人の割合							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		部	8	10	5	4	10	10	40.0	
	活動指標(2)		事業	5,081	322	300	300	300	400	75.0	
	成果指標(1)		%	33	36	37	39	39	40	96.3	
	成果指標(2)		%					15	20	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,195	1,864	843	536	1,081	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 17年度は「男女共同参画推進区民懇談会」に部会を設置する。		
	(内) 委託費		千円	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.40	1.11	0.90	0.95	0.90			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	3,633	9,983	8,190	8,645	8,190			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	4,828	11,847	9,033	9,181	9,271			
	単位あたりコスト ÷		円	603,500	1,184,700	1,806,600	2,295,250	927,100			
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0			0
		特定財源計 +		千円	0	0	0	0			0
差引: 一般財源 -		千円	4,828	11,847	9,033	9,181	9,271				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	80.0	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	63.6	都市宣言記念事業啓発パネル作成の印刷代等の節減を図った。		
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			17年度は、男女共同参画推進区民懇談会に部会を設置し、より多くの区民の意見を集約できるようにする。								

平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成9年12月1日に区は男女共同参画都市宣言を行った。区の刊行物等に宣言文を掲載したり、催しの際に宣言文を掲示したり、普及に努力している。平成14年10月には、内閣府と共催で全国男女共同参画宣言都市サミットを開催した。平成16年3月、「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」を改定した。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」に基づいた施策が、どれだけ推進できるかという期待が大きくなる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 男女共同参画についてのさまざまな課題を、男女共同参画推進区民懇談会委員とともに認識し、意見を集約して問題解決を図る。また、記念事業の開催により、男女共同参画宣言都市であることを区民に周知できる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: より多くの区民に男女共同参画、男女共同参画宣言都市であることを推進、普及する。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 男女共同参画の推進という事業の性格上、受益者負担は適当でない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 現在も、必要最低限の経費で行っている。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	理由: 理由または具体的内容: 男女共同参画推進区民懇談会で、区民、関係団体等の意見を集約し、男女共同参画関係施策を推進する。
	(6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^) 協働等の形態 協働[実行委員会・協議会](具体的内容)	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 男女共同参画推進区民懇談会に部会を設置し、より多くの区民、関係団体等の意見を集約できるようにする。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 男女共同参画社会を実現するため、区民の意識と実態を把握し、効果的な事業を展開する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民、団体(区内事業者等)に対する意識啓発の方法を考える。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の改定作業に入るため、男女共同参画推進区民懇談会の開催を増やす。